

一般財団法人毎日書道会

令和6年度の実施事業報告

【1】書の展覧会事業

■ 第75回毎日書道展

【毎日書道展本展】

第75回毎日書道展は、会友とU23の出品作品を含む公募23,041点（前回比756点減）の中から選ばれた入選・会友作品15,023点と、役員の作品3,682点をもって開催した。東京展をはじめ全国10会場で展覧した。入場者は、東京展で56,817人（前回比7,057人増）、他の9会場を加えた全国10会場合計で94,022人（同5,829人増）だった。表彰式は令和6年7月21日、ザ・プリンスパークタワー東京で開き、受賞者ら約1,600人が出席した。

（10会場の展覧日程は次の通り）

・東京展	前期展	7月10日	～	7月22日	国立新美術館
	後期展	7月24日	～	8月4日	
		7月18日	～	7月24日	東京都美術館
・北陸展		8月18日	～	8月22日	富山県民会館
・東海展		8月20日	～	8月25日	愛知県美術館ギャラリー
・中国展		8月20日	～	8月25日	広島県立美術館
・四国展		8月21日	～	8月25日	愛媛県美術館
・関西展		8月28日	～	9月1日	京都市京セラ美術館
					みやこめっせ第2展示場 日図デザイン博物館
・東北仙台展		9月20日	～	9月25日	せんだいメディアテーク
・北海道展		9月25日	～	9月29日	札幌市民ギャラリー
					大丸藤井セントラル
・東北山形展		10月16日	～	10月20日	山形美術館
・九州展		11月12日	～	11月17日	大分県立美術館

【毎日現代書巡回展】

第75回記念毎日現代書巡回展は、全国5都市で開催、当地の書家と毎日書道会役員55名の巡回作品などを展示した。

(5会場の展覧日程は次の通り)

- ・神奈川展 3月16日 ～ 3月24日 そごう美術館
- ・静岡展 4月16日 ～ 4月21日 静岡県立美術館・静岡市民文化会館
- ・群馬展 10月4日 ～ 10月4日 高崎シティギャラリー
- ・鹿児島展 10月16日 ～ 10月20日 鹿児島県歴史・美術センター黎明館
- ・豊田展 10月23日 ～ 10月27日 豊田市美術館ギャラリー
豊田市民文化会館

【東京展特別展示】

第75回毎日書道展の東京展特別展示として、7月10日～8月4日、国立新美術館で「墨魂の群像－毎日の書48人」を開催した。

【毎日書道顕彰】

書道に関する芸術・学術・教育・啓蒙の振興に著しく貢献した個人、グループを顕彰する「毎日書道顕彰」は、令和6年は啓蒙部門に扶桑印社、新進気鋭の書家を顕彰する俊英賞に棧敷東煌氏をそれぞれ選定した。同年7月21日、本展表彰式会場で顕彰した。

■ 国際高校生選抜書展

「第33回国際高校生選抜書展」は、国内から10,494点、海外から141点(14カ国・地域)の計10,635点(前年比24点増)の応募があった。このうち、入賞作の209点を令和7年2月5日～9日、神戸市の原田の森ギャラリーで展示した。団体優勝は滋賀県立伊吹高等学校だった。表彰式は同年2月9日、毎日新聞社大阪本社オーバルホールで開催した。

■ 2025現代の書 新春展

「2025現代の書 新春展」は令和7年1月4日～9日、東京・セイコーハウスホール(旧和光)に幹部24人の作品、同・セントラルミュージアム銀座には審査会員から選抜した100人の作品を展示した。入場者は合計8,214人だった。

■ 2025 毎日書道展新会員作家展

第76回展から会員に昇格する書家を対象に令和7年3月10日～4月5日、アートサロン毎日で「2025 毎日書道展新会員作家展」を開いた。計124人が出品し、4週に分けて展示した。入場者は1,499人だった。

■ 地域書道展の助成・協力

本財団として、令和7年1月開催の「毎日現代書関西代表作家展」(大阪市)をはじめ、神奈川など全国各地の書道展覧会の開催を助成、企画協力し、国内での書道文化の発展、普及に努めた。

【2】 出版・広報

■ 出版物

【第75回毎日書道展役員、入賞、入選者名鑑】

令和6年7月発行 8,000部
役員、入賞、入選作家に無料配布した。

【第75回毎日書道展入賞作品集】

令和6年7月発行 2,300部
各賞受賞者全員の作品を収録。希望者に有料で配布した。

【第75回毎日書道展役員作品集】

令和6年12月発行 4,000部
役員作家全員の作品を収録。役員、関係者に無料配布し、希望者には有料で配布した。

【第75回毎日書道展記録DVD】

第75回毎日書道展の審査風景や会員賞受賞作品一覧などを収録した記録DVDを製作し、各会場で無料放映した。

■ 会報発行

毎日書道会の事業活動の周知、広報用に「書道会報」を年4回発行した。賛助会員全員と書道関係者らに無料配布した。

令和6年4月	32,000部	(16頁)
7月	14,000部	(8頁)
9月	12,000部	(8頁)
12月	12,000部	(8頁)

■ 毎日書道会ホームページ、書のひろば

毎日書道会のホームページは、書道会の活動をより分かりやすく広報するため、毎日書道展などの書展情報を充実させた。

毎日書道会動画サイト「書のひろば」も毎日書道展の表彰式、国際高校生選抜書展の審査と表彰式を生中継するなど書展情報を充実。毎日新聞東京都内面の連載紙面「こころの書」とも連動し、企画「上達への一歩」を動画サイトで紹介した。

【3】アートサロン毎日の運営

アートサロンは令和6年度に、書道を中心に計7団体が延べ23週利用して個展やグループ展等を開催した。なお、展覧会以外では、毎日書道会内部の各種会議、毎日書道展などの準備作業場などに使用された。

【4】毎日書道図書館の運営

「毎日書道図書館」の令和6年度の利用者は91人だった。閲覧室の閉鎖にともない蔵書をすべて書庫へ移動した。蔵書は寄贈などにより、約23,800点となった。